

地域・保護者の皆さまに開かれた六浦中の、コロナ禍の「いま」をお伝えします

冬を連れてくる鳥 オオバン



11月28日、六中のすぐそばの新川橋あたりでオオバン6羽をみかけました。日本で冬を越す渡り鳥です。以前、平潟湾でハゼ釣りをされている方と話したとき、オオバンや鶺鴒が来る季節はハゼが深場に逃げて釣れなくなると、教えてくれたことを思い出しました。季節の移ろいを感じます。急に寒くなりました。ご自愛ください。

美術科の授業 鍋敷き に 彫刻 する

中2美術の彫刻では設計図を書く前に様々な「文様」の形や意味を学びました。図柄をデザインする際には、鍋敷きを使う場面にあう文様の形や意味を考えて選んでいます。右の写真の文様は「麻の葉」です。製作者はこの表現にどんな思いを込めているのでしょうか。一刀一刀ていねいに彫り進める手先からもその思いが感じられるようでした。



「評価」の本質は、力が付いたかどうかを確認する方法、ということです

美術では「表現」と「鑑賞」の活動を通して美術科における資質・能力を育てます。その力が付いたかどうかを見取る「評価規準」を設定し、その到達度を評価します。今回の授業では、

- 1 **知識・技能** 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫している。
- 2 **思考・判断・表現** 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。
- 3 **主体的に学習に取り組む態度** 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。

の3観点で評価します。教師はここに基づいて指導し、授業の途中や終了時にデザイン図、作品、振り返りの記述、授業中の観察等から評価し、資質・能力を身に付けるための支援をします。

今回も読んでいただき、ありがとうございました。部活動の練習試合見学の制限が緩和されました。

むつマガは学校HPでもご覧になれます。<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/mutsuura/>